

## 〔第一問〕

## 問1 商品売買

## 1 先入先出法

## (1) 商品有高帳

## 商 品 有 高 帳

(単位: 千円)

日付	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
X1年 4月 1日	前期繰越	70	50	3,500				70	50	3,500
4月 15日	仕入	100	51	5,100				70	50	3,500
								100	51	5,100
5月 20日	売上				70	50	3,500			
					60	51	3,060	40	51	2,040
6月 15日	仕入	150	52	7,800				40	51	2,040
								150	52	7,800
6月 16日	仕入返品	△10	52	△520				40	51	2,040
								140	52	7,280
8月 20日	売上				40	51	2,040			
					80	52	4,160	60	52	3,120
10月 15日	仕入	150	54	8,100				60	52	3,120
								150	54	8,100
11月 10日	売上				60	52	3,120			
					70	54	3,780	80	54	4,320
X2年 1月 15日	仕入	40	52	2,080				80	54	4,320
								40	52	2,080
3月 12日	売上				70	54	3,780	10	54	540
								40	52	2,080
3月 31日	次期繰越				10	54	540			
					40	52	2,080			
		500		26,060	500		26,060			

## (2) 会計処理 (全て掛取引としている)

## ① 総記法

## a 期中仕訳

X1年 4月 15日	(借)	商	品	5,100	(貸)	買	掛	金	5,100
5月 20日	(借)	売	掛	金	9,100	(貸)	商	品	9,100
6月 15日	(借)	商	品	7,800	(貸)	買	掛	金	7,800
6月 16日	(借)	買	掛	金	520	(貸)	商	品	520
8月 20日	(借)	売	掛	金	8,400	(貸)	商	品	8,400
10月 15日	(借)	商	品	8,100	(貸)	買	掛	金	8,100
11月 10日	(借)	売	掛	金	9,750	(貸)	商	品	9,750
X2年 1月 15日	(借)	商	品	2,080	(貸)	買	掛	金	2,080
3月 12日	(借)	売	掛	金	5,250	(貸)	商	品	5,250

## b 勘定記入

商			品			(単位: 千円)
X1年 4月 1日	前期繰越	3,500	X1年 5月20日	売掛金	9,100	
4月15日	買掛金	5,100	6月16日	買掛金	520	
6月15日	"	7,800	8月20日	売掛金	8,400	
10月15日	"	8,100	11月10日	"	9,750	
X2年 1月15日	"	2,080	X2年 3月12日	"	5,250	

※ 勘定残高: 6,440千円 (貸方残高) ⇒ 解答1①

## c 決算整理仕訳 ⇒ 解答2①

X2年 3月31日	(借)	商	品	9,060	(貸)	商	品	販	売	益	9,060
-----------	-----	---	---	-------	-----	---	---	---	---	---	-------

※ 6,440千円 (上記b) + 2,620千円 (期末商品棚卸高) = 9,060千円

## ② 3分法

## a 期中仕訳

X1年 4月15日	(借)	仕	入	5,100	(貸)	買	掛	金	5,100
5月20日	(借)	売	掛	金	9,100	(貸)	売	上	9,100
6月15日	(借)	仕	入	7,800	(貸)	買	掛	金	7,800
6月16日	(借)	買	掛	金	520	(貸)	仕	入	520
8月20日	(借)	売	掛	金	8,400	(貸)	売	上	8,400
10月15日	(借)	仕	入	8,100	(貸)	買	掛	金	8,100
11月10日	(借)	売	掛	金	9,750	(貸)	売	上	9,750
X2年 1月15日	(借)	仕	入	2,080	(貸)	買	掛	金	2,080
3月12日	(借)	売	掛	金	5,250	(貸)	売	上	5,250

## b 勘定記入

繰			越			商			品			(単位: 千円)
X1年 4月 1日	前期繰越	3,500										

※ 勘定残高: 3,500千円 (借方残高) ⇒ 解答1②

仕			入			(単位: 千円)					
X1年 4月15日	買掛金	5,100	X1年 6月16日	買掛金	520						
6月15日	"	7,800									
10月15日	"	8,100									
X2年 1月15日	"	2,080									

※ 勘定残高: 22,560千円 (借方残高) ⇒ 解答1②

売			上			(単位: 千円)					
X1年 5月20日	売掛金	9,100									
8月20日	"	8,400									
11月10日	"	9,750									
X2年 3月12日	"	5,250									

※ 勘定残高: 32,500千円 (貸方残高) ⇒ 解答1②

## c 決算整理仕訳 ⇒ 解答2②

X2年 3月31日	(借)	仕	入	3,500	(貸)	繰	越	商	品	3,500
	(借)	繰	越	商	品	2,620	(貸)	仕	入	2,620

## ③ 売上原価対立法

## a 期中仕訳

X1年 4月15日	(借)	商	品	5,100	(貸)	買	掛	金	5,100
5月20日	(借)	売	掛	金	9,100	(貸)	売	上	9,100
	(借)	売	上	原	価	(貸)	商	品	6,560
6月15日	(借)	商	品	7,800	(貸)	買	掛	金	7,800
6月16日	(借)	買	掛	金	520	(貸)	商	品	520
8月20日	(借)	売	掛	金	8,400	(貸)	売	上	8,400
	(借)	売	上	原	価	(貸)	商	品	6,200
10月15日	(借)	商	品	8,100	(貸)	買	掛	金	8,100
11月10日	(借)	売	掛	金	9,750	(貸)	売	上	9,750
	(借)	売	上	原	価	(貸)	商	品	6,900
X2年 1月15日	(借)	商	品	2,080	(貸)	買	掛	金	2,080
3月12日	(借)	売	掛	金	5,250	(貸)	売	上	5,250
	(借)	売	上	原	価	(貸)	商	品	3,780

## b 勘定記入

		商	品	(単位：千円)							
X1年 4月 1日	前	期	繰	越	3,500	X1年 5月20日	売	上	原	価	6,560
4月15日	買	掛	金	5,100	6月16日	買	掛	金	520		
6月15日	"			7,800	8月20日	売	上	原	価	6,200	
10月15日	"			8,100	11月10日	"			6,900		
X2年 1月15日	"			2,080	X2年 3月12日	"			3,780		

※ 勘定残高：2,620千円 (借方残高) ⇒ 解答1)③

		売	上	原	価	(単位：千円)
X1年 5月20日	商	品	6,560			
8月20日	"		6,200			
11月10日	"		6,900			
X2年 3月31日	"		3,780			

※ 勘定残高：23,440千円 (借方残高) ⇒ 解答1)③

		売	上	(単位：千円)
X1年 5月20日	売	掛	金	9,100
8月20日	"			8,400
11月10日	"			9,750
X2年 3月12日	"			5,250

※ 勘定残高：32,500千円 (借方残高) ⇒ 解答1)③

## c 決算整理仕訳 ⇒ 解答2)③

X2年 3月31日	(借)	仕	訳	不	要	(貸)	
-----------	-----	---	---	---	---	-----	--

## 2 その都度後入先出法

## 商 品 有 高 帳

(単位: 千円)

日付	摘要	受入			払出			残高			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
X1年 4月 1日	前期繰越	70	50	3,500				70	50	3,500	
4月 15日	仕入	100	51	5,100				70 100	50	3,500	
									51	5,100	
5月 20日	売上				100 30	51	5,100				
						30	50	1,500	40	50	2,000
6月 15日	仕入	150	52	7,800				40 150	50	2,000	
									52	7,800	
6月 16日	仕入返品	△10	52	△520				40 140	50	2,000	
									52	7,280	
8月 20日	売上				120	52	6,240	40 20	50	2,000	
										52	1,040
10月 15日	仕入	150	54	8,100				40 20 150	50	2,000	
									52	1,040	
									54	8,100	
11月 10日	売上				130	54	7,020	40 20 20	50	2,000	
										52	1,040
										54	1,080
X2年 1月 15日	仕入	40	52	2,080				40 20 20 40	50	2,000	
									52	1,040	
									54	1,080	
									52	2,080	
3月 12日	売上				40 20 10	52	2,080	40 10	50	2,000	
						20	54		1,080	52	520
						10	52		520		
3月 31日	次期繰越				40 10	50	2,000				
						10	52	520			
		500		26,060	500		26,060				

※ 売上原価: 23,540 千円 ⇒ 解答3①

## 3 年次総平均法

## 商 品 有 高 帳

(単位: 千円)

日付	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
X1年 4月 1日	前期繰越	70	50	3,500				70	50	3,500
4月 15日	仕入	100	51	5,100				170		
5月 20日	売上				130	52.12	6,775.6	40		
6月 15日	仕入	150	52	7,800				190		
6月 16日	仕入返品	△10	52	△520				180		
8月 20日	売上				120	52.12	6,254.4	60		
10月 15日	仕入	150	54	8,100				210		
11月 10日	売上				130	52.12	6,775.6	80		
X2年 1月 15日	仕入	40	52	2,080				120		
3月 12日	売上				70	52.12	3,648.4	50	52.12	2,606
3月 31日	次期繰越				50	52.12	2,606			
		500		26,060	500		26,060			

※ 平均単価: 26,060千円 (受入金額) ÷ 500個 (受入数量) = 52.12千円

※ 売上原価: 23,454千円 ⇒ 解答3②

## 4 最終仕入原価法

## (1) 期末商品棚卸高

50個 (期末棚卸数量) × 52千円 (X2年1月15日仕入単価) = 2,600千円

## (2) 売上原価

26,060千円 (受入欄合計) - 2,600千円 (上記1) = 23,460千円 ⇒ 解答3③

## 問2 税効果会計

## 1 X1年度 (X1年4月1日～X2年3月31日)

## (1) 減価償却

(借)	減 価 償 却 費	375,000	(貸)	減 価 償 却 累 計 額	375,000	※1
(借)	繰 延 税 金 資 産	30,000	(貸)	法 人 税 等 調 整 額	30,000	※2、3

※1 1,500,000円 (取得原価) ÷ 4年 (経済的耐用年数) = 375,000円

※2 1,500,000円 (取得原価) ÷ 5年 (法定耐用年数) = 300,000円

※3 {375,000円 (上記※1) - 300,000円 (上記※2)} × 40% (法定実効税率: X1年度・X2年度) = 30,000円

## (2) 貸倒引当金

(借)	貸 倒 引 当 金 繰 入	120,000	(貸)	貸 倒 引 当 金	120,000	
(借)	繰 延 税 金 資 産	48,000	(貸)	法 人 税 等 調 整 額	48,000	※

※ 120,000円 (貸倒引当金) × 40% (法定実効税率: X1年度・X2年度) = 48,000千円

## (3) 違反金

(借)	支 払 違 反 金	50,000	(貸)	現 金 預 金	50,000	
-----	-----------	--------	-----	---------	--------	--

※ 永久差異であるため、税効果会計は適用されない。

## 2 X2年度 (X2年4月1日～X3年3月31日)

## (1) 減価償却

(借)	減 価 償 却 費	375,000	(貸)	減 価 償 却 累 計 額	375,000	※1
(借)	繰 延 税 金 資 産	25,500	(貸)	法 人 税 等 調 整 額	25,500	※2、3
(借)	法 人 税 等 調 整 額	4,500	(貸)	繰 延 税 金 資 産	4,500	※4

※1 1,500,000円 (取得原価) ÷ 4年 (経済的耐用年数) = 375,000円

※2 1,500,000円 (取得原価) ÷ 5年 (法定耐用年数) = 300,000円

※3 {375,000円 (上記※1) - 300,000円 (上記※2)} × 34% (法定実効税率: X3年度～) = 25,500円

※4 {375,000円 (上記※1) - 300,000円 (上記※2)} × {0.34 (法定実効税率: X3年度～) - 0.4 (法定実効税率: X1年度・X2年度)} = △4,500円

## (2) 貸倒引当金

(借)	貸 倒 引 当 金	120,000	(貸)	売 掛 金	122,000	
(〃)	貸 倒 損 失	2,000				
(借)	法 人 税 等 調 整 額	48,000	(貸)	繰 延 税 金 資 産	48,000	※

※ 120,000円 (貸倒引当金) × 40% (法定実効税率: X1年度・X2年度) = 48,000円

(借)	貸 倒 引 当 金 繰 入	110,000	(貸)	貸 倒 引 当 金	110,000	
(借)	繰 延 税 金 資 産	37,400	(貸)	法 人 税 等 調 整 額	37,400	※

※ 110,000円 (貸倒引当金繰入) × 34% (法定実効税率: X3年度～) = 37,400円

## (3) その他有価証券

(借)	投 資 有 価 証 券	200,000	(貸)	繰 延 税 金 負 債	※1	68,000
			(〃)	その他有価証券評価差額金	※2	132,000

※1 {5,200,000円 (時価) - 5,000,000円 (取得原価)} × 34% (法定実効税率: X3年度～) = 68,000円

※2 {5,200,000円 (時価) - 5,000,000円 (取得原価)} × {1 - 0.34 (法定実効税率: X3年度～)} = 132,000円

## 3 X3年度(X3年4月1日～X4年3月31日)

## (1) 減価償却

(借)	減価償却費	375,000	(貸)	減価償却累計額	375,000	※1
(借)	繰延税金資産	25,500	(貸)	法人税等調整額	25,500	※2、3

※1 1,500,000円(取得原価)÷4年(経済的耐用年数)=375,000円

※2 1,500,000円(取得原価)÷5年(法定耐用年数)=300,000円

※3 {375,000円(上記※1)-300,000円(上記※2)}×34%(法定実効税率:X3年度～)=25,500円

## (2) 貸倒引当金

(借)	貸倒引当金	97,000	(貸)	売掛金	97,000	
(借)	貸倒引当金	13,000	(貸)	貸倒引当金戻入	13,000	
(借)	法人税等調整額	37,400	(貸)	繰延税金資産	37,400	※

※ 110,000円(貸倒引当金繰入)×34%(法定実効税率:X3年度～)=37,400円

(借)	貸倒引当金繰入	125,000	(貸)	貸倒引当金	125,000	
(借)	繰延税金資産	42,500	(貸)	法人税等調整額	42,500	※

※ 125,000円(貸倒引当金繰入)×34%(法定実効税率:X3年度～)=42,500円

## (3) その他有価証券

## ① 期首の洗替処理

(借)	繰延税金負債	68,000	(貸)	投資有価証券	200,000	
(〃)	その他有価証券評価差額金	132,000				

## ② 期末時価評価

(借)	投資有価証券	200,000	(貸)	繰延税金負債	※1	102,000
			(〃)	その他有価証券評価差額金	※2	198,000

※1 {5,300,000円(時価)-5,000,000円(取得原価)}×34%(法定実効税率:X3年度～)=102,000円

※2 {5,300,000円(時価)-5,000,000円(取得原価)}×{1-0.34(法定実効税率:X3年度～)}=198,000円

## (4) 国庫補助金

(借)	現金預金	1,500,000	(貸)	国庫補助金受入益	1,500,000	
(借)	機械装置	3,000,000	(貸)	現金預金	3,000,000	
(借)	繰越利益剰余金	990,000	(貸)	固定資産圧縮積立金	990,000	※1
(借)	法人税等調整額	510,000	(貸)	繰延税金負債	510,000	※2

※1 1,500,000円(国庫補助金受入益)×{1-0.34(法定実効税率:X3年度～)}=990,000円

※2 1,500,000円(国庫補助金受入益)×34%(法定実効税率:X3年度～)=510,000円

## 〔第二問〕

## 問1 リース取引

## (1) リース取引

## ① リース取引開始時 (X1年4月1日)

(借)	リース資産	8,510	(貸)	リース債務	8,510
-----	-------	-------	-----	-------	-------

※1 リース料総額の現在価値

X2年3月31日:  $2,400 \text{千円} \div 1.05 \approx 2,286 \text{千円}$ X3年3月31日:  $2,400 \text{千円} \div 1.05^2 \approx 2,177 \text{千円}$ X4年3月31日:  $2,400 \text{千円} \div 1.05^3 \approx 2,073 \text{千円}$ X5年3月31日:  $2,400 \text{千円} \div 1.05^4 \approx 1,974 \text{千円}$ 

合計: 8,510千円

※2 リース資産及びリース債務の計上額

8,510千円 (上記※1) &lt; 9,000千円 (見積現金購入価額) ∴ 8,510千円

## ② リース取引開始期の期末 (X2年3月31日)

(借)	リース債務	1,974	(貸)	普通預金	2,400
(〃)	支払利息	※1 426			
(借)	減価償却費	2,128	(貸)	減価償却累計額	2,128

※2

※1 8,510千円 (上記①)  $\times 5\%$  (借手の追加借入利率)  $\approx 426$ 千円※2 8,510千円 (上記①)  $\div 4$ 年 (リース期間)  $\approx 2,128$ 千円

## (2) セール・アンド・リースバック取引

## ① X1年4月1日 (資産売却とリース取引開始時)

(借)	減価償却累計額	※1 30,000	(貸)	機械	200,000
(〃)	預金	180,000	(〃)	長期前受収益	※2 10,000
(借)	リース資産	180,000	(貸)	リース債務	180,000
(借)	リース債務	43,167	(貸)	普通預金	43,167

※3

※1  $\{200,000 \text{千円 (取得原価)} - 200,000 \text{千円 (取得原価)} \times 10\% \text{ (残存価額)}\} \div 6 \text{年 (耐用年数)} = 30,000 \text{千円}$ ※2  $180,000 \text{千円 (売却価額)} - \{200,000 \text{千円 (取得原価)} - 30,000 \text{千円 (減価償却累計額)}\} = 10,000 \text{千円}$ 

※3 下記④を参照



## ② X2年3月31日(リース取引開始期の期末)

(借)	減価償却費	32,000	(貸)	減価償却累計額	32,000	※1
(借)	長期前受収益	2,000	(貸)	減価償却費	2,000	※2
(借)	支払利息	13,683	(貸)	未払支払利息	13,683	※3

※1  $\{180,000 \text{ 千円 (上記①)} - 200,000 \text{ 円 (当初の取得原価)} \times 10\% \text{ (残存価額)}\} \div 5 \text{ 年 (リース期間)} = 32,000 \text{ 千円}$

※2  $10,000 \text{ 千円 (上記①)} \div 5 \text{ 年 (リース期間)} = 2,000 \text{ 千円}$

※3 下記④を参照

## ③ X5年4月1日(リース取引最終期の期首)

(借)	未払支払利息	3,925	(貸)	支払利息	3,925	※
(借)	リース債務	39,242	(貸)	普通預金	43,167	※
(〃)	支払利息	3,925				

※ 下記④を参照

## ④ リース債務の返済スケジュール

日付	期首元本	リース料	元本返済分	利息分	期末元本
X1年4月1日	180,000	43,167	43,167	—	136,833
X2年4月1日	136,833	43,167	29,484	13,683	107,349
X3年4月1日	107,349	43,167	32,432	10,735	74,917
X4年4月1日	74,917	43,167	35,675	7,492	39,242
X5年4月1日	39,242	43,167	39,242	3,925	0

※ 利息分は期首元本に貸手の計算利率10%を乗じて計算している。

## 問2 ソフトウェア

(1) X1年3月31日(期末)

(借)	研究開発費	40,000	(貸)	仮払金	100,000
(〃)	修繕費	5,000			
(〃)	ソフトウェア	10,000			
(〃)	製品	45,000			

※ 市場販売目的のソフトウェアに係る会計処理

	会計処理
① 最初に製品化された製品マスターが完成するまでの制作活動のために費用	研究開発費として処理
② 製品マスターの機能の改良・強化を行う制作活動のために費用	ソフトウェアとして資産計上
③ 製品マスターの機能維持に要した費用	発生時の費用として処理
④ 製品としてのソフトウェアの制作原価	製品の製造原価として処理

(2)① X2年3月31日(期末)

(借)	ソフトウェア償却	200,000	(貸)	ソフトウェア	200,000
-----	----------	---------	-----	--------	---------

※1 見積販売数量に基づく償却額

$$600,000 \text{ 千円 (ソフトウェア制作費の総額)} \times 800 \text{ 個 (X1年度の実績販売数量)} \div 3,000 \text{ 個 (見積販売数量)} = 160,000 \text{ 千円}$$

※2 残存有効期間に基づく均等配分額

$$600,000 \text{ 千円 (ソフトウェア制作費の総額)} \div 3 \text{ 年 (残存有効期間)} = 200,000 \text{ 千円}$$

※3 当期の償却額

$$160,000 \text{ 千円 (上記※1)} < 200,000 \text{ 千円 (上記※2)} \therefore 160,000 \text{ 千円}$$

(2)② X3年3月31日(期末)

(借)	ソフトウェア償却	325,000	(貸)	ソフトウェア	325,000
-----	----------	---------	-----	--------	---------

※1 見積販売数量に基づく償却額

$$\{600,000 \text{ 千円 (ソフトウェア制作費の総額)} - 200,000 \text{ 千円 (上記①)}\} \times 1,200 \text{ 個 (X2年度の実績販売数量)} \div \{1,200 \text{ 個 (X2年度の実績販売数量)} + 300 \text{ 個 (X3年度の見積販売数量)}\} = 320,000 \text{ 千円}$$

※2 残存有効期間に基づく均等配分額

$$\{600,000 \text{ 千円 (ソフトウェア制作費の総額)} - 200,000 \text{ 千円 (上記①)}\} \div 2 \text{ 年 (残存有効期間)} = 200,000 \text{ 千円}$$

※3 当期の償却額(下記※4考慮前)

$$320,000 \text{ 千円 (上記※1)} > 200,000 \text{ 千円 (上記※2)} \therefore 320,000 \text{ 千円}$$

※4 収益性の低下による償却額

a 未償却残高:  $600,000 \text{ 千円 (ソフトウェア制作費の総額)} - 200,000 \text{ 千円 (上記①)} - 320,000 \text{ 千円 (上記※3)} = 80,000 \text{ 千円}$

b 見込販売収益:  $300 \text{ 個 (X3年度の見積販売数量)} \times \{750,000 \text{ 千円 (見積販売収益)} \div 3,000 \text{ 個 (見積販売数量)}\} = 75,000 \text{ 千円}$

c 収益性の低下による償却額:  $80,000 \text{ 千円} - 75,000 \text{ 千円} = 5,000 \text{ 千円}$

※5 当期償却額(上記※4考慮後)

$$320,000 \text{ 千円 (上記※3)} + 5,000 \text{ 千円 (上記※4)} = 325,000 \text{ 千円}$$

## 問3 資産除去債務

① X1年4月1日(機械取得時)

(借)	機	械	20,823	(貸)	当座預金	20,000
				(〃)	資産除去債務	※ 823

※ 下記④を参照

② X3年3月31日(期末)

(借)	減価償却費	5,206	(貸)	減価償却累計額	5,206	※1	
(借)	利息費用	43	(貸)	資産除去債務	43	※2	
(借)	機	械	370	(貸)	資産除去債務	370	※2

※1 下記⑤を参照

※2 下記④を参照

③ X5年3月31日(期末)

(借)	減価償却費	5,390	(貸)	減価償却累計額	5,390	※1	
(借)	減価償却累計額	21,193	(貸)	機	械	21,193	※1
(借)	利息費用	63	(貸)	資産除去債務	63	※2	
(借)	資産除去債務	1,400	(貸)	当座預金	1,600		
(〃)	履行差額	200					

※1 下記⑤を参照

※2 下記④を参照

## ④ 資産除去債務の計上額のまとめ

	除去費用の 見積額	割引率	期首資産除 去債務残高	利息費用	除去費用の見積 額の変更影響額	期末資産除 去債務残高
X1年度	※1 1,000	5%	※2 823	※3 41	—	864
X2年度	1,400	4%	864	※4 43	※5 370	1,277
X3年度	1,400	—	1,277	※6 60	—	1,337
X4年度	1,400	—	1,337	※7 63	—	1,400

※1 a 労務費：280千円×30%+440千円×50%+480千円×20%=400千円

b 間接費：400千円（上記a）×100%=400千円

c 利益：{400千円（上記a）+400千円（上記b）}×25%=200千円

d 合計：1,000千円

※2 1,000千円（除去費用の見積額）÷（1+0.05）<sup>4</sup>≒823千円

※3 823千円（期首資産除去債務残高）×5%=41千円

※4 864千円（期首資産除去債務残高）×5%=43千円

※5 {1,400千円（変更後の除去費用の見積額）-1,000千円（変更前の除去費用の見積額）}÷（1+0.04）<sup>2</sup>≒370千円

※6 a 当初見積額に係る利息費用：{864千円（X3年度の期首資産除去債務残高）+43千円（X3年度の利息費用）}×5%=45千円

b 増加額に係る利息費用：370千円（除去費用の見積額の変更影響額）×4%=15千円

c 合計：60千円

※7 1,400千円（除去費用の見積額）-1,337千円（期首資産除去債務残高）=63千円

## ⑤ 資産計上額のまとめ

	取得原価	期首除去費用 資産計上額	期首資産 計上額	期首減価 償却累計額	減価償却費	期末減価 償却累計額	除去費用の見 積額の変更影
X1年度	20,000	823	20,823	—	※1 5,206	5,206	—
X2年度	20,000	823	20,823	5,206	※1 5,206	10,412	※2 370
X3年度	20,000	1,193	21,193	10,412	※3 5,391	15,803	—
X4年度	20,000	1,193	21,193	15,803	※4 5,390	21,193	—

※1 20,823千円（X1年度の期首資産計上額）÷4年（耐用年数）≒5,206千円

※2 上記④を参照

※3 20,823千円（X1年度の期首資産計上額）÷4年（耐用年数）+370千円（除去費用の見積額）÷2年（残存耐用年数）≒5,391千円

※4 21,193千円（X4年度の期首資産計上額）-15,803千円（X4年度の期首減価償却累計額）=5,390千円

## 〔第三問〕

## 1 普通預金

(1) 得意先から回収した小切手の取立て

(借)	預	金	120,000	(貸)	現	金	120,000
-----	---	---	---------	-----	---	---	---------

(2) 仮払金の精算

(借)	営	業	費	※3	97,000	(貸)	売	上	※1	56,000	
(〃)	仮	払	金	※4	24,000	(〃)	売	掛	金	※2	65,000

※1 得意先への現金売上 (3月31日)

	入 金	出 金
仮払金額	100,000	
得意先への現金売上		
3月31日	( 56,000)	
4月1日	29,000	
得意先からの売掛金回収	99,000	
旅費交通費		68,000
得意先との飲食代		38,000
振込額		178,000
合 計	( 284,000)	284,000

※2 得意先からの売掛金回収 (3月31日)

※3 旅費交通費の支払い (3月31日)

※4 貸借差額

(3) 得意先乙社へのリベート支払い

(借)	売	上	200,000	(貸)	未	払	金	200,000
-----	---	---	---------	-----	---	---	---	---------

※1 2月中の売上高

104,000円 (4月5日のリベート支払額) ÷1% (リベート率) =10,400,000円

※2 2月中の払出数量

5,000個 (2月10日払出) +1,000個 (2月12日払出) +1,500個 (2月19日払出) +3,500個 (2月24日払出) +2,000個 (2月29日払出)  
=13,000個

※3 1個あたりの売価

10,400,000円 (上記※1) ÷13,000個 (上記※2) =800円

※4 3月中の払出数量

3,000個 (3月10日払出) +8,000個 (3月25日払出) +1,000個 (3月30日払出) =12,000個

※5 5月5日のリベート支払額

12,000個 (上記※4) ×800円 (上記※3) ×1% (リベート率) =96,000円

※6 合計: 104,000円 (4月5日のリベート支払額) +96,000円 (上記※2) =200,000円

(4) 決算整理後残高試算表の金額

◇ 現金: 325,200円 (決算整理前残高試算表の現金) -120,000円 (上記1) =205,200円

◇ 預金: 25,200,000円 (決算整理前残高試算表の預金) +120,000円 (上記1) =25,320,000円 → 解答の金額(1)

◇ 未払金: 200,000円 (上記3) → 解答の金額(2)

## 2 商品

## (1) 売上原価の算定

(借)	仕	入	30,035,000	(貸)	繰	越	商	品	30,035,000
(借)	繰	越	商	品	21,962,400	(貸)	仕	入	21,962,400

 ※

※1 B商品：12,000個（3月30日残高）×210円（下記3※1）=2,520,000円

※2 C商品

a 平均単価：{1,254,600円（期首商品棚卸高）+15,324,300円（当期商品仕入高）}÷{1,530個（期首商品棚卸数量）+18,090個（当期商品仕入数量）}=845円

b 期末商品棚卸高：1,760個（期末商品棚卸数量）×845円（上記a）=1,487,200円

※3 D商品

a 平均単価：{3,770,000円（期首商品棚卸高）+32,350,000円（当期商品仕入高）}÷{6,500個（期首商品棚卸数量）+58,000個（当期商品仕入数量）}=560円

b 期末商品棚卸高：5,300個（期末商品棚卸数量）×560円（上記a）=2,968,000円

※4 2,520,000円（上記※1）+1,487,200円（上記※2b）+2,968,000円（上記※3b）+14,987,200円（B商品、C商品、D商品以外の期末商品棚卸高）=21,962,400円

## (2) 期末商品の評価

(借)	商	品	評	価	損	202,400	(貸)	繰	越	商	品	202,400
-----	---	---	---	---	---	---------	-----	---	---	---	---	---------

 ※

※1 C商品

a 平均販売単価：891,770円（売上）÷1,210個=737円

b 見積販売直接費：737円（上記a）×1%≒7円

c 正味売却価額：{737円（上記a）-7円（上記b）}×1,760個（期末商品棚卸数量）=1,284,800円

d 商品評価損：1,487,200円（上記1※2b）-1,284,800円（上記c）=202,400円

※2 D商品

a 平均販売単価：{2,352,000円（売上）+42,000円（売上割戻）}÷4,200個=570円

b 見積販売直接費：570円（上記a）×1%≒6円

c 正味売却価額：{570円（上記a）-6円（上記b）}×5,300個（期末商品棚卸数量）=2,989,200円

d 商品評価損：2,968,000円（上記1※3b）-2,989,200円（上記c）=△21,200円 ∴商品評価損は生じていない

## (3) 決算整理後残高試算表の金額

◇ 繰越商品：30,035,000円（決算整理前残高試算表の金額）-30,035,000円（上記1）+21,962,400円（上記1）-202,400円（上記2）=21,760,000円 → 解答の金額(3)

◇ 商品評価損：202,400円（上記2） → 解答の金額(9)

## 3 売掛金・買掛金

## (1) 得意先丙者への直送品

(借)	仕	入	210,000	(貸)	買	掛	金	210,000
(借)	売	掛	金	233,000	(貸)	売	上	233,000

 ※1、2 ※3、4

※1 仕入単価：1,260,000円（売掛金と買掛金の計上額の差額）÷{1,000個（No.2803KK）+5,000個（No.2803EZ）}=210円

※2 仕入金額：1,000個（No.2803KK）×210円（上記※1）=210,000円

※3 売上単価：210円（上記※1）÷{1-0.1（粗利益率）}≒233円

※4 売上金額：1,000個（No.2803KK）×233円（上記※3）=233,000円

## (2) 決算整理後残高試算表の金額

◇ 仕入：420,220,000円（決算整理前残高試算表の仕入）+30,035,000円（上記2[1]）-21,962,400円（上記2[1]）+210,000円（上記1）=428,502,600円 → 解答の金額(8)

◇ 買掛金：42,063,000円（決算整理前残高試算表の買掛金）+210,000円（上記1）=42,273,000円 → 解答の金額(20)

◇ 売上：653,000,000円（決算整理前残高試算表の売上）+56,000円（上記1[2]）-200,000円（上記1[3]）+233,000円（上記1）=653,089,000円 → 解答の金額(33)

## 4 投資有価証券

## (1) E社株式

## ① その他資本剰余金を財源とした配当

(借)	受 取 配 当 金	500,000	(貸)	投 資 有 価 証 券	500,000
-----	-----------	---------	-----	-------------	---------

## ② 時価評価

(借)	投 資 有 価 証 券	※1、2 1,250,000	(貸)	繰 延 税 金 負 債	※3 500,000
				そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	※4 750,000

※1 平均株価：{1,646円(3月1日～29日の平均株価) × 20日間(3月1日～29日の取引所の営業日数) + 1,700円(3月30日の株価) + 1,680円(3月31日の株価)} ÷ {20日間(3月1日～29日の取引所の営業日数) + 2日間(3月30日および3月31日)} = 1,650円

※2 5,000株(数量) × 1,650円(上記※1) - {7,500,000円(取得原価) - 500,000円(上記①)} = 1,250,000円

※3 1,250,000円(上記※2) × 40%(法定実効税率) = 500,000円

※4 1,250,000円(上記※2) × {1 - 0.4(法定実効税率)} = 750,000円

## (2) F社株式

(借)	投 資 有 価 証 券 評 価 損	2,700,000	(貸)	投 資 有 価 証 券	2,700,000
-----	-------------------	-----------	-----	-------------	-----------

※ 2,500株(数量) × 720円(3月31日の株価) - 4,500,000円 = △2,700,000円(50%以上下落しているため減損処理を行う)

## (3) G社社債

## ① 取得時(平成27年4月1日) → 処理済

(借)	投 資 有 価 証 券	5,700,000	(貸)	預 金	5,700,000
-----	-------------	-----------	-----	-----	-----------

※ 47,500ドル(取得原価) × 120円(取得時の直物為替相場) = 5,700,000円

## ② 決算時(平成28年3月31日)

## a 償却原価法 → 処理済

(借)	投 資 有 価 証 券	59,000	(貸)	有 価 証 券 利 息	59,000
-----	-------------	--------	-----	-------------	--------

※1 外貨額：{50,000ドル(額面金額) - 47,500ドル(取得原価)} ÷ 5年(平成27年4月1日から平成32年3月31日) = 500ドル

※2 期中平均為替相場：59,000円(決算整理前残高試算表の有価証券利息) ÷ 500ドル(上記※1) = 118円

※3 円貨額：500ドル(上記※1) × 118円(上記※2) = 59,000円

## b 換算替え → 未処理

(借)	為 替 差 損	239,000	(貸)	投 資 有 価 証 券	239,000
-----	---------	---------	-----	-------------	---------

※ {47,500ドル(取得原価) + 500ドル(上記a※1)} × 115円(決算時の為替相場) - {5,700,000円(上記①) + 59,000円(上記a)} = △239,000円

## (4) H社社債

## ① 取得時(平成27年4月1日) → 処理済

(借)	投 資 有 価 証 券	8,148,000	(貸)	預 金	8,148,000
-----	-------------	-----------	-----	-----	-----------

※ 67,900ドル(取得原価) × 120円(取得時の直物為替相場) = 8,148,000円

## ② 決算時(平成28年3月31日)

## a 償却原価法 → 未処理

(借)	投 資 有 価 証 券	82,600	(貸)	有 価 証 券 利 息	82,600
-----	-------------	--------	-----	-------------	--------

※1 外貨額：{70,000ドル(額面金額) - 67,900ドル(取得原価)} ÷ 3年(平成27年4月1日から平成30年3月31日) = 700ドル

※2 円貨額：700ドル(上記a) × 118円(上記3)②a※2) = 82,600円

## b 換算替え → 未処理

(借)	為 替 差 損	341,600	(貸)	投 資 有 価 証 券	341,600
-----	---------	---------	-----	-------------	---------

※ {67,900ドル(取得原価) + 700ドル(上記a※1)} × 115円(決算時の為替相場) - {8,148,000円(上記①) + 82,600円(上記②a)} = △341,600円

## (5) 決算整理前残高試算表の金額

- ◇ 投資有価証券：7,500,000円 (E社株式) +4,500,000円 (F社株式) +5,700,000円 (上記3①) +59,000円 (上記3②a) +8,148,000円 (上記4①) =25,907,000円

## (6) 決算整理後残高試算表の金額

- ◇ 投資有価証券：25,907,000円 (決算整理前残高試算表の投資有価証券) -500,000円 (上記1①) +1,250,000円 (上記1②) -2,700,000円 (上記2) -239,000円 (上記3②b) +82,600円 (上記4②a) -341,600円 (上記4②b) =23,459,000円 → 解答の金額(5)
- ◇ 為替差損：239,000円 (上記3②b) +341,600円 (上記4②b) =580,600円 → 解答の金額(16)
- ◇ 投資有価証券評価損：2,700,000円 (上記2) → 解答の金額(17)
- ◇ その他有価証券評価差額金：750,000円 (上記1②) → 解答の金額(31)
- ◇ 有価証券利息：59,000円 (決算整理前残高試算表の有価証券利息) +82,600円 (上記4②) =141,600円 → 解答の金額(34)
- ◇ 受取配当金：500,000円 (決算整理前残高試算表の受取配当金) -500,000円 (上記1①) =0円

## 5 貸倒引当金

## (1) 決算整理前残高試算表の金額

## ◇ 売掛金

- a P社：3,800,000円
- b Q社：735,000円 (貸倒懸念債権に係る貸倒引当金について計上された繰延税金資産) ÷ 40% (法定実効税率) ÷ {0.5 (会計上の繰入率) - 0.1 (税務上の繰入率)} =3,750,000円
- c 一般債権：44,520,000円
- d 合計：52,070,000円

- ◇ 破産更生債権等：550,000円 (破産更生債権等に係る貸倒引当金について計上された繰延税金資産) ÷ 40% (法定実効税率) ÷ {1 (会計上の繰入率) - 0.5 (税務上の繰入率)} =2,750,000円

## ◇ 貸倒引当金

- a Q社：3,750,000円 (Q社に対する売掛債権) × 50% (会計上の繰入率) =1,875,000円
- b R社：2,750,000円 (R社に対する売掛債権) × 100% (会計上の繰入率) =2,750,000円
- c 一般債権：40,500,000円 (一般債権) × 1% (会計上の繰入率) =405,000円
- d 合計：5,030,000円

## (2) P社債権

(借)	個別貸倒引当金繰入額	1,900,000	(貸)	貸倒引当金	1,900,000	※1
(借)	繰延税金資産	744,800	(貸)	法人税等調整額	744,800	※2

※1 3,800,000円 (P社に対する売掛債権) × 50% (会計上の繰入率) =1,900,000円

※2 {1,900,000円 (上記※1) - 3,800,000円 (P社に対する売掛債権) × 1% (税務上の繰入率)} × 40% (法定実効税率) =744,800円

## (3) Q社債権

(借)	破産更生債権等	3,750,000	(貸)	売掛金	3,750,000	
(借)	個別貸倒引当金繰入額	1,875,000	(貸)	貸倒引当金	1,875,000	※1
(借)	繰延税金資産	15,000	(貸)	法人税等調整額	15,000	※2

※1 3,750,000円 (Q社に対する売掛債権) × 100% (会計上の繰入率) - 1,875,000円 (前期末に計上した貸倒引当金) =1,875,000円

※2 {3,750,000円 (上記※1) - 3,750,000円 (Q社に対する売掛債権) × 50% (税務上の繰入率)} × 40% (法定実効税率) - 735,000円 (前期末に計上した繰延税金資産) =15,000円

## (4) R社債権

(借)	貸倒引当金	2,750,000	(貸)	破産更生債権等	2,750,000
(借)	仮受金	50,000	(借)	個別貸倒引当金繰入額	50,000
(借)	法人税等調整額	550,000	(貸)	繰延税金資産	550,000



## (5) 一般債権

(借)	一般貸倒引当金繰入額	81,330	(貸)	貸倒引当金	81,330
-----	------------	--------	-----	-------	--------

※  $\{4,145,000 \text{ 円 (決算整理前残高試算表の受取手形)} + 52,070,000 \text{ 円 (決算整理前残高試算表の売掛金)} - 65,000 \text{ 円 (上記1(2))} + 233,000 \text{ 円 (上記3)} - 3,800,000 \text{ 円 (貸倒懸念債権)} - 3,750,000 \text{ 円 (上記3)} - 200,000 \text{ 円 (上記1(3))}\} \times 1\%$  (会計上の繰入率)  $- 405,000 \text{ 円 (前期末に計上した貸倒引当金)} = 81,330 \text{ 円}$

## (6) 決算整理後残高試算表の金額

- ◇ 売掛金:  $52,070,000 \text{ 円 (決算整理前残高試算表の売掛金)} - 65,000 \text{ 円 (上記1(2))} + 233,000 \text{ 円 (上記3(1))} - 3,750,000 \text{ 円 (上記3)} = 48,488,000 \text{ 円} \rightarrow$  解答の金額(2)
- ◇ 破産更生債権等:  $2,750,000 \text{ 円 (決算整理前残高試算表の破産更生債権等)} + 3,750,000 \text{ 円 (上記3)} - 2,750,000 \text{ 円 (上記4)} = 3,750,000 \text{ 円} \rightarrow$  解答の金額(6)
- ◇ 一般貸倒引当金繰入額:  $81,330 \text{ 円 (上記5)} \rightarrow$  解答の金額(12)
- ◇ 個別貸倒引当金繰入額:  $1,900,000 \text{ 円 (上記2)} + 1,875,000 \text{ 円 (上記3)} - 50,000 \text{ 円 (上記4)} = 3,725,000 \text{ 円} \rightarrow$  解答の金額(13)
- ◇ 貸倒引当金:  $5,030,000 \text{ 円 (決算整理前残高試算表の貸倒引当金)} + 1,900,000 \text{ 円 (上記2)} + 1,875,000 \text{ 円 (上記3)} - 2,750,000 \text{ 円 (上記4)} + 81,330 \text{ 円 (上記5)} = 6,136,330 \text{ 円} \rightarrow$  解答の金額(24)

## 6 有形固定資産

## (1) 建物

## ① 減価償却

(借)	減価償却費	1,000,000	(貸)	建物	1,000,000
-----	-------	-----------	-----	----	-----------

※1 取得原価:  $X$  (取得原価)  $- X$  (取得原価)  $\div \{50 \text{ 年 (耐用年数)} \times 12 \text{ か月}\} \times 6 \text{ か月 (平成26年10月から平成27年3月)} = 49,500,000 \text{ 円}$   
(建物の期首帳簿価額)  $\therefore X = 50,000,000 \text{ 円}$

※2 当期の減価償却費:  $50,000,000 \text{ 円 (上記※1)} \div 50 \text{ 年 (耐用年数)} = 1,000,000 \text{ 円}$

## ② 圧縮積立金の取崩

(借)	圧縮積立金	240,000	(貸)	繰越利益剰余金	240,000
-----	-------	---------	-----	---------	---------

※  $11,880,000 \text{ 円 (決算整理前残高試算表の圧縮積立金)} \div \{50 \text{ 年 (耐用年数)} \times 12 \text{ か月} - 6 \text{ か月 (平成26年10月から平成27年3月)}\} \times 12 \text{ か月 (平成27年4月から平成28年3月)} = 240,000 \text{ 円}$

## ③ 税効果会計

(借)	繰延税金負債	160,000	(貸)	法人税等調整額	160,000
-----	--------	---------	-----	---------	---------

※1 決算整理前残高試算表の繰延税金負債:  $11,880,000 \text{ 円 (決算整理前残高試算表の圧縮積立金)} \div \{1 - 0.4 \text{ (法定実効税率)}\} \times 40\%$  (法定実効税率)  $= 7,920,000 \text{ 円}$

※2  $7,920,000 \text{ 円 (上記※1)} \div \{50 \text{ 年 (耐用年数)} \times 12 \text{ か月} - 6 \text{ か月 (平成26年10月から平成27年3月)}\} \times 12 \text{ か月 (平成27年4月から平成28年3月)} = 160,000 \text{ 円}$

## (2) 備品

(借)	減価償却費	240,000	(貸)	備品	3,200,000
(〃)	仮受金	2,150,000			
(〃)	固定資産売却損	810,000			

※1 取得原価:  $X$  (取得原価)  $- X$  (取得原価)  $\div \{8 \text{ 年 (耐用年数)} \times 12 \text{ か月}\} \times 16 \text{ か月 (平成25年12月から平成27年3月)} = 3,200,000 \text{ 円}$   
(備品の期首帳簿価額)  $\therefore X = 3,840,000 \text{ 円}$

※2 当期の減価償却費:  $3,840,000 \text{ 円 (上記※1)} \div 8 \text{ 年 (耐用年数)} \div 12 \text{ か月} \times 6 \text{ か月 (平成27年4月から平成27年9月)} = 240,000 \text{ 円}$

## (3) 土地

(借)	減 損 損 失	13,000,000	(貸)	土 地	13,000,000
-----	---------	------------	-----	-----	------------

※ 48,000,000円(期首帳簿価額) - 35,000,000円(売却代金) = 13,000,000円

## (4) 決算整理後残高試算表の金額

- ◇ 建物 : 49,500,000円 (決算整理前残高試算表の建物) - 1,000,000円 (上記1①) = 48,500,000円
- ◇ 土地 : 216,000,000円 (決算整理前残高試算表の土地) - 13,000,000円 (上記3) = 203,000,000円
- ◇ 固定資産売却損 : 810,000円 (上記2) → 解答の金額(18)
- ◇ 減損損失 : 13,000,000円 (上記3) → 解答の金額(19)
- ◇ 繰延税金負債 : 7,920,000円 (決算整理前残高試算表の繰延税金負債) + 500,000円 (上記4(1)②) - 160,000円 (上記1③) = 8,260,000円 → 解答の金額(27)
- ◇ 圧縮積立金 : 11,880,000円 (決算整理前残高試算表の圧縮積立金) - 240,000円 (上記1②) = 11,640,000円 → 解答の金額(30)
- ◇ 繰越利益剰余金 : 171,003,200円 (決算整理前残高試算表の繰越利益剰余金) + 240,000円 (上記1②) = 171,243,200円
- ◇ 法人税等調整額 : 744,800円 (上記5(2)) + 15,000円 (上記5(3)) - 550,000円 (上記5(4)) + 160,000円 (上記6(1)③) = 369,800円 → 解答の金額(36)

## 7 リース

## (1) リース資産およびリース債務の計上

(借)	リ ー ス 資 産	3,300,000	(貸)	リ ー ス 債 務	3,300,000
-----	-----------	-----------	-----	-----------	-----------

※ 3,300,000円(リース料総額の現在価値) < 3,500,000円(甲社の見積現金購入価額) ∴ 3,300,000円

## (2) リース料の支払い

(借)	リ ー ス 債 務	220,000	(貸)	営 業 費	※1 240,000
(〃)	支 払 利 息	※2 20,000			

※1 60,000円(月額リース料) × 4回(当期の支払回数) = 240,000円

※2 a 利息相当額 : 60,000円(月額リース料) × 60回(全支払回数) - 3,300,000円(上記1) = 300,000円

b 当期の支払利息 : 300,000円(上記a) ÷ 60回(全支払回数) × 4回(当期の支払回数) = 20,000円

## (3) 減価償却

(借)	減 価 償 却 費	220,000	(貸)	リ ー ス 資 産	220,000
-----	-----------	---------	-----	-----------	---------

※ 3,300,000円(上記1) ÷ 5年(リース期間) ÷ 12か月 × 4か月(平成27年12月1日から平成28年3月31日) = 220,000円

## (4) 決算整理後残高試算表の金額

- ◇ リース資産 : 3,300,000円(上記1) - 220,000円(上記3) = 3,080,000円
- ◇ 減価償却費 : 1,000,000円(上記6(1)①) + 240,000円(上記6(2)) + 220,000円(上記3) = 1,460,000円 → 解答の金額(11)
- ◇ 営業費 : 161,210,000円(決算整理前残高試算表の営業費) + 97,000円(上記1(2)) - 240,000円(上記2) = 161,067,000円 → 解答の金額(14)
- ◇ 支払利息 : 20,000円(上記2) → 解答の金額(15)
- ◇ リース債務 : 3,300,000円(上記1) - 220,000円(上記2) = 3,080,000円 → 解答の金額(26)

## 8 退職給付引当金

## (1) 当期拠出掛金

(借)	退職給付引当金	7,500,000	(貸)	仮払金	7,500,000
-----	---------	-----------	-----	-----	-----------

## (2) 退職給付費用および退職給付引当金の計上

(借)	退職給付費用	6,100,000	(貸)	退職給付引当金	6,100,000
-----	--------	-----------	-----	---------	-----------

※1 利息費用：120,000,000円（期首退職給付債務）×1.0%（割引率）=1,200,000円

※2 期待重用収益：100,000,000円（期首年金資産）×2%（長期期待重用収益率）=2,000,000円

※3 数理計算上の差異の当期償却額

a 平成26年3月期発生の未認識数理計算上の差異

2,500,000円（平成26年3月期の未認識数理計算上の差異の発生金額）÷10年（償却期間）×9年（残存償却期間）=2,250,000円

b 平成27年3月期発生の未認識数理計算上の差異

120,000,000円（期首退職給付債務）+2,250,000円（平成26年3月期発生の未認識数理計算上の差異）-100,000,000円（期首年金資産）-20,750,000円（決算整理前残高試算表の退職給付引当金）=1,500,000円（不利差異）

c 数理計算上の差異の当期償却額

△2,250,000円（上記a）÷9年（残存償却期間）+1,500,000円（上記b）÷10年（残存償却期間）=△100,000円

※4 7,000,000円（勤務費用）+1,200,000円（上記※1）-2,000,000円（上記※2）-100,000円（上記※3c）=6,100,000円

## (3) 決算整理後残高試算表の金額

◇ 退職給付費用：6,100,000円（上記2） → 解答の金額(10)

◇ 退職給付引当金：20,750,000円（決算整理前残高試算表の退職給付引当金）-7,500,000円（上記1）+6,100,000円（上記2）=19,350,000円 → 解答の金額(28)

## 9 為替予約

## (1) 時価評価

(借)	繰延税金資産	240,000	(貸)	為替予約	600,000
(〃)	繰延ヘッジ損益	360,000			

※1 {115円（決算時の先物為替レート）-118円（予約時の先物為替レート）}×200,000ドル（為替予約額）=△600,000円

※2 600,000円（上記※1）×40%（法定実効税率）=240,000円

※3 600,000円（上記※1）×{1-0.4（法定実効税率）}=360,000円

## 2. 決算整理後残高試算表の金額

◇ 繰延税金資産：1,285,000円（決算整理前残高試算表の繰延税金資産）+744,800円（上記5(2)）+15,000円（上記5(3)）-550,000円（上記5(4)）+240,000円（上記1）=1,734,800円 → 解答の金額(7)

◇ 為替予約：600,000円（上記1）

◇ 繰延ヘッジ損益：△360,000円（上記1） → 解答の金額(32)

## 10 外貨建転換社債型新株予約権付社債

## (1) 決算整理前残高試算表の金額

◇ 社債：300,000ドル（発行額面総額）×120円（平成27年3月31日の直物為替レート）=36,000,000円

## (2) 権利行使時（平成27年12月1日）

(借)	社債	※2 10,200,000	(貸)	資本金	※1 10,030,000
(〃)			(〃)	為替差益	170,000

※1 a 権利行使された新株予約権付社債の外貨額：850株（新株の発行数）×10,800円（1株あたりの転換価額）÷108円（固定レート）=85,000ドル

b 払込金額：85,000ドル（上記※1）×118円（権利行使時の直物為替レート）=10,030,000円

※2 85,000ドル×120円（平成27年3月31日の直物為替レート）=10,200,000円

## (3) 決算時(平成28年3月31日)

(借)	社	債	1,075,000	(貸)	為替差益	1,075,000
-----	---	---	-----------	-----	------	-----------

※ {300,000ドル(発行額面総額) - 85,000ドル(上記2※1)} × 115円(決算時の直物為替レート) - 120円(平成27年3月31日の直物為替レート) = △1,075,000円

## (4) 決算整理後残高試算表の金額

- ◇ 社債: 36,000,000円(決算整理前残高試算表の社債) - 10,200,000円(上記2) - 1,075,000円(上記3) = 24,725,000円 → 解答の金額(25)
- ◇ 資本金: 50,000,000円(決算整理前残高試算表の資本金) + 10,030,000円(上記2) = 60,030,000円 → 解答の金額(29)
- ◇ 為替差益: 170,000円(上記2) + 1,075,000円(上記3) = 1,245,000円 → 解答の金額(35)

## 11 消費税等

## (1) 消費税等の整理

(借)	仮受消費税等	53,330,000	(貸)	仮払消費税等	37,853,000
			(〃)	仮払金	8,235,000
			(〃)	未払消費税等	7,242,000

## (2) 決算整理後残高試算表の金額

- ◇ 未払消費税等: 7,242,000円(上記1) → 解答の金額(23)

## 12 法人税等

## (1) 法人税等の計上

(借)	法人税等	※ 14,860,468	(貸)	仮払金	8,200,000
			(〃)	未払法人税等	6,660,468

※ {654,475,600円(収益合計) - 618,248,930円(費用合計)} × 40% + 369,800円(法人税等調整額) = 14,860,468円

## (2) 決算整理後残高試算表の金額

- ◇ 仮払金: 24,035,000円(決算整理前残高試算表の仮払金) + 24,000円(上記1(2)) - 7,500,000円(上記8(1)) - 8,235,000円(上記11(1)) - 8,200,000円(上記1) = 124,000円 → 解答の金額(4)
- ◇ 法人税等: 14,860,468円(上記1)
- ◇ 未払法人税等: 6,660,468円(上記1) → 解答の金額(22)

## 13 決算整理前残高試算表 (平成28年3月31日現在)

(単位: 円)

借 方		貸 方	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
現 金	325,200	買 掛 金	42,063,000
預 金	25,200,000	仮 受 金	2,200,000
受 取 手 形	4,145,000	仮 受 消 費 税 等	53,330,000
売 掛 金	( 52,070,000 )	貸 倒 引 当 金	( 5,030,000 )
繰 越 商 品	30,035,000	社 債	( 36,000,000 )
仮 払 金	24,035,000	繰 延 税 金 負 債	( 7,920,000 )
仮 払 消 費 税 等	37,853,000	退 職 給 付 引 当 金	20,750,000
建 物	49,500,000	資 本 金	50,000,000
備 品	3,200,000	圧 縮 積 立 金	11,880,000
土 地	216,000,000	繰 越 利 益 剰 余 金	171,003,200
投 資 有 価 証 券	( 25,907,000 )	売 上	653,000,000
破 産 更 生 債 権 等	( 2,750,000 )	有 価 証 券 利 息	59,000
繰 延 税 金 資 産	1,285,000	受 取 配 当 金	500,000
仕 入	420,220,000		
営 業 費	161,210,000		
合 計	( 1,053,735,200 )	合 計	( 1,053,735,200 )

## 14 決算整理後残高試算表 (平成28年3月31日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
現 金	205,200	買 掛 金 (20)	42,273,000
預 金 (1)	25,320,000	未 払 金 (21)	200,000
受 取 手 形	4,145,000	未 払 法 人 税 等 (22)	6,660,468
売 掛 金 (2)	48,488,000	未 払 消 費 税 等 (23)	7,242,000
繰 越 商 品 (3)	21,760,000	為 替 予 約	600,000
仮 払 金 (4)	124,000	貸 倒 引 当 金 (24)	6,136,330
建 物	48,500,000	社 債 (25)	24,725,000
土 地	203,000,000	リ ー ス 債 務 (26)	3,080,000
リ ー ス 資 産	3,080,000	繰 延 税 金 負 債 (27)	8,260,000
投 資 有 価 証 券 (5)	23,459,000	退 職 給 付 引 当 金 (28)	19,350,000
破 産 更 生 債 権 等 (6)	3,750,000	資 本 金 (29)	60,030,000
繰 延 税 金 資 産 (7)	1,734,800	圧 縮 積 立 金 (30)	11,640,000
仕 入 (8)	428,502,600	繰 越 利 益 剰 余 金	171,243,200
商 品 評 価 損 (9)	202,400	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 (31)	750,000
退 職 給 付 費 用 (10)	6,100,000	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益 (32)	△360,000
減 価 償 却 費 (11)	1,460,000	売 上 (33)	653,089,000
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (12)	81,330	有 価 証 券 利 息 (34)	141,600
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (13)	3,725,000	受 取 配 当 金	0
営 業 費 (14)	161,067,000	為 替 差 益 (35)	1,245,000
支 払 利 息 (15)	20,000	法 人 税 等 調 整 額 (36)	369,800
為 替 差 損 (16)	580,600		
投 資 有 価 証 券 評 価 損 (17)	2,700,000		
固 定 資 産 売 却 損 (18)	810,000		
減 損 損 失 (19)	13,000,000		
法 人 税 等	14,860,468		
合 計	1,016,675,398		1,016,675,398